

【別紙 07】 一体型デスクトップ PC

※ すべて同一機種で 122 台用意すること。

(ただし、情報処理教室に設置する機種は、一部指示が異なるので注意すること。)

(1) 共通要件

[ハードウェア]

- (ア) 液晶ディスプレイ一体型デスクトップパソコンであること。
- (イ) 19 インチ相当以上の液晶ディスプレイであり、横幅 480mm に収まるサイズであること。(設置場所の関係上)
- (ウ) CPU は Core™ i3-8100T 相当以上であること。
- (エ) 内蔵 SSD 256GB 以上であること。
- (オ) メモリは 4GB 以上であること。
- (カ) 内蔵スーパーマルチドライブを有すること。
- (キ) 1000Base-T / 100Base-TX 対応 LAN インターフェイスを内蔵 1 口以上有すること。
- (ク) パソコン本体前面に USB3.0 相当以上のインターフェイス (Type-A) を 2 口以上有すること。
上記を含め、USB2.0 相当以上のインターフェイスを計 4 口以上有すること。
- (ケ) アナログ RGB 出力が可能であること。(変換で出力することも可)
- (コ) Φ 3.5mm ステレオ対応の音声入出力端子を有すること。
- (サ) ステレオスピーカおよび内蔵音源を有すること。
- (シ) USB 光学式有線マウス (ホイール付) を有すること。
- (ス) 日本語 109 (テンキー付) 有線キーボードを有すること。
- (セ) Wake On LAN に対応していること。
- (ソ) 両耳オーバーヘッドタイプのステレオヘッドセット (ステレオ mini プラグ Φ 3.5mm) を準備すること。※手元で音量調整およびマイクのオンオフが可能なこと。
また、ヘッドセットを掛けることができる両面テープフックを準備すること。

[ソフトウェア]

- (タ) OS は Windows 10 Pro (64bit) (日本語版) をインストールすること。
- (チ) Microsoft Office Professional 2019 以上をインストールすること。
- (ツ) 内蔵スーパーマルチドライブで DVDVideo 再生・データ書き込みが可能なこと。
- (テ) 以下の要件を満たすウイルス対策ソフトをインストールすること。
 - ① リアルタイムにウイルス検出、駆除、隔離が可能なこと。
 - ② Web アクセス時に、不正なサイトへ接続しようとした場合、アクセスをブロ

ックする機能を有すること。

③ 今回導入するウイルス対策管理ソフトで管理ができること。

(ト) 以下のアプリケーションをインストールし、本学担当者の指示通り設定すること。

① Adobe Reader

② IBM SPSS および AMOS (ライセンス及びインストール媒体の提供は本学より行う。)

③ Lhaplus

[その他]

(ナ) 今回導入する Windows、Office の再インストール用媒体と PC 付属媒体を 1 部以上納品すること。

(ニ) 再インストール用として、本学担当者が指示した環境時点でのディスクイメージを作成すること。

(ヌ) ソフトウェアの利用に「認証」が必要なものについては当該作業を完了した状態で納品すること。

(ネ) デフォルトプロファイルは本学担当者の指示どおりに作成すること。

(ノ) MAC アドレス、シリアル No、コンピュータ名の一覧を提出すること。

(ハ) BIOS 起動にパスワードロックが可能なこと。

(ヒ) 記憶装置のパスワード設定が可能なこと。

(フ) ハードディスクは C ドライブと D ドライブに分割すること。

(ヘ) なお、マスター端末を元にクローン展開を行う場合、作業場所の提供は本学より行うが、作業に必要な部材 (ハブ、LAN ケーブル等) については受託者にて準備すること。

(ホ) 本学担当者の指示に従って設置、設定、配線、動作確認、梱包物の撤去などをすべて行うこと。

(2) 第一情報処理教室 (58 台)、第二情報処理教室 (58 台)

(ア) それぞれの教室に 58 台 (教卓 2 台+学生 56 台) ずつ、担当者の指示に従って設置すること。(それ以外の 6 台は大学院棟 3F の SE 室に設置すること。)

(イ) 以下の要件を満たすパソコン運用支援ソフトをインストールすること。

a) パソコンを起動するたびに、あらかじめ登録した状態に復元できること。

b) 復元対象 (領域) は、ドライブ単位及びファイル/フォルダ単位で設定可能であること。更に、システムレジストリ内の復元しない領域を部分的に設定できること。

c) WSUS サーバと連携できること。

d) リモートで複数のパソコンを一斉に電源投入・切断・再起動・ログオン・ロ

グオフを行えること。

- e) 複数クライアントの電源投入・切断・再起動をタイマーによって実行でき、その際に指定したメッセージ及びカウントダウン表示を行えること。
 - f) リモートで複数のパソコンを一斉に操作できること。その際、各クライアントに表示されているウィンドウ位置を揃えるための自動補正機能を有すること。
 - g) リモート操作機能において、複数クライアントもしくは単一クライアントの画面表示・操作が行え、フルスクリーン表示にも対応していること。
 - h) コンソールにて、クライアントの各種情報（コンピュータ名、IP アドレス、MAC アドレス、電源状態、ログインユーザ名、OS 名、システムドライブのディスク使用率、復元機能の動作状態、ウイルスパターンの情報）を参照できること。
 - i) クライアント PC の型名/CPU/メモリ/ディスクドライブ/接続プリンタ等のハードウェア情報/インストールソフト名の情報を収集できる機能を有すること。
 - j) ディスクイメージ取得ができること。
- (ウ) それぞれの教室内の 4 台のプリンタに、プリントサーバ経由でジョブの削除や、既存の学生証(Felica)を利用した認証印刷ができるようにすること。
- (エ) 情報処理教室に設置するパソコンには既存のセキュリティワイヤーを付けること。